

様式第8号

議長	副議長	局長	次長	係長	

研修等報告書

令和 5年 2月 24日

笠岡市議会議長 殿

議員 真鍋 陽子



下記のとおり研修等を実施したのでその結果を報告します。

記

案 件	地方自治と子ども施策 全国自治体シンポジウム2022明石
期 日	令和 5年 2月 11日(土) 13時 から17時まで
主 催 者	「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム2022明石実行委員会 明石市
講 師	<p>シンポジウム「こども基本法・こども家庭庁と今後の自治体の子ども施策について考える」</p> <p>基調報告 「子ども基本法制と今後の自治体の子ども施策」 野村武司(東京経済大学教授)</p> <p>特別報告 「子ども施策における子どもの意見の反映—国際的動向を中心として」 平野裕二(子どもの権利条約総合研究所運営委員)</p> <p>自治体報告「こどもを本気で応援すれば、まちのみんなが幸せになれる」 泉房穂(明石市長)</p> <p>対談 「子ども施策における子どもの権利の具体化とまちづくり」 森田明美(東洋大学名誉教授) / 泉房穂(明石市長)</p> <p>コーディネーター 野村武司(東京経済大学)、内田塔子(東洋大学)</p>
訪問施設	西日本子ども研修センターあかし 大研修室 明石駅前再開発ビル(パピオス明石)
	<p>2023年4月、子どもの権利条約の精神に則る形で制定された国のこども基本法が施行され、条約の一般原則を踏まえ、また基本理念のもと、子ども施策は基本的に子ども家庭庁に統合される。一方で子ども施策の実施は自治体にある。今後は子ども基本法を踏まえた子どもの権利保障のための子ども施策の展開が地方自治体においても期待されており、本シンポジウムではあらたな子ども基本法制の内容、意義、課題等を確認したうえで、子どもの権利保障を踏まえた子ども施策の国内外の展開を踏まえながら、子どもにやさしいまちづくりと</p>

子ども施策について自治体が直面する課題や役割について学ぶために本シンポジウムに参加した。

省庁縦割りを解消するための子ども家庭庁創設ではあるが、実施主体である自治体がこれまで通りに個別の法律の論理のみに従って事務事業を実施するのであれば意味がない。これからは自治体が、その有する資格を活かしながら、基本理念に即して子ども施策を展開していかなければならない。笠岡市においては平成25年4月1日施行「笠岡市子ども条例」を制定しているが、この条例で保障されている「生きる権利」「守られる権利」「育つ権利」「参加する権利」という4つの権利が真に笠岡市制に落とし込まれていくために必要な要件を調査し、提案を重ねていかなければならない。

シンポジウムでは「こどもを本気で応援すればまちのみんなが幸せになれる やさしい社会を明石から～地方から日本を変える～」と題し、泉房穂明石市長から報告があった。こどもの貧困は大人のせい、政治の貧困のせいである。お金がなくてもやるのが子育てであり、明石市で行っている施策は日本全国どこの自治体においても、すぐにでもできることばかり。本来は国が行わなければならないことだが、国を待っているのは遅すぎるので明石市が先に行っているとのこと。こどもや障がい者が暮らしにくいのは放置している市長の責任と言い切られていました。ファミリーシップ・パートナーシップ宣誓制度や養育費の保証促進補助金制度創設など、明石市を参考に行われている施策が笠岡市内にはありますが、例えばファミリーシップ、パートナーシップ宣誓制度においては事実婚カップルを対象から外すなど、明石市とは根本的な部分で意識の差が表れていると実感せざるを得ません。予算が伴わない施策でさえ根本の部分から真似ることすらできていないのであれば、予算が伴わない施策についてはますます、明石なみにすることは難しいのでは、とすら考えさせられました。

シンポジウム後は明石駅前開発ビル（パピオス明石）の見学を行いました。シンポジウム会場のあった大久保駅から電車に乗り、明石駅に降りたとたん聞こえてきたのは、赤ちゃんの泣き声。行きかう中に体の不自由なかが支援を受けながら歩かれていたり、白杖を使われている方がお一人で歩かれていたり。駅を出ると目に付く大きな階段は7色に彩られるなど駅付近はのびのびとした雰囲気には満ちていました。パピオス明石に入ったところすぐに傘水切りが設置されていたりと、ビニール製品を極力使わないで済む工夫もされていました。本のまちの拠点となるため明石駅前一等地の駅ビル4階に設置された図書館は読書バリアフリー環境も充実しており、明石城を眺めることのできるラウンジでは安価な飲み物も提供されています。5階には一時保育ルーム、親子交流スペース、工作ルーム、中高生世代交流施設が配置され、6階にはあかし総合窓口やこども保健センターが設置されています。2階には毎日2万人近い方々が通行するあかし市民広場が、1階には様々な飲食店が入っており駅前開発ビルと連結した場所にある商店街にもぎわっているとの事。笠岡市ではこれから駅南開発が始まりますが、賑わいを創出するための、全体的なデザインの検討が必要です。

添付資料

報告資料集 明石市市政ガイド2022 その他資料、チラシ各種